

一般会計予算  
44億5,880万円  
(2億8,880万円増額補正)

# 環境整備支援事業費補助金を 倍増 農業振興費総額 1億4,509万円

平成30年度  
補正予算  
全員賛成

## 追加の主なもの

### ◎歳入の補正

- 特定防衛施設周辺整備調整交付金 ……1億80万円
- 大瓜南側線外3舗装補修事業 ……3,489万円
- 社会資本整備総合交付金(道路) ……946万円
- 社会資本整備総合交付金(住宅) ……2,850万円

### ◎歳出の補正

- 尾西2号線改良舗装事業 ……3,717万円
- 大瓜南側線外3舗装補修事業 ……3,589万円
- 尾西中山線改良舗装事業 ……3,208万円
- 西沢用排水路整備事業 ……4,377万円
- 大鮎用排水路整備事業 ……3,830万円



改修予定の五反田住宅1号棟・2号棟

**問** 当初予算と同額の450万円を補正するが、その詳細は。

**答** 6月7日現在で28件の申請があり、420万円以上を支出している。今後、秋の刈り取りから来年に向けてさらなる申請が予想されるため、当初予算の倍、総額900万円の予算措置を行う。

**問** 申請の傾向として、住民はどういった事業への補助を求めているか。

**答** 補助申請は農地と農業用施設で分けている。農地については畦畔撤去や排水溝の整備が大きな金額を占める。農業用施設に関しては、用排水路・農道の整備・拡幅、揚水ポンプの補修などの実績があった。

## 農業環境整備支援事業費補助金

## 主な質疑

**問** 今年度の防衛調整交付金は今回の補正で確定か。

**答** 来年2月に米軍演習が予定されているので、追加があると思われる。

**問** 交付金の充当先は暴風雪柵と道路の補修のようだが、その詳細は。

**答** 万葉おおひら館の裏、村道あぶみ沢線に高さ1・5m、延長33mの暴風雪柵を整備する。

**問** 今回の補修箇所以外にも痛んでいる場所が多いが。

**答** 防衛局と調整して、事業化を図っていく。

## 五反田住宅の改修

**問** 住宅請負工事の詳細は。

**答** 昨年、五反田住宅3号棟の壁面に断熱材を入れる等の改修をした。今回は1号棟と2号棟に同様の改修工事を行う。



環境整備支援補助金を用いた農道の新設(大瓜下)



整備が進められる村道尾西2号線(松原)

平成30年第2回定例会は、6月6日から8日までの3日間開かれました。専決処分の承認5件、条例の改正3件、財産の取得1件、損害賠償の和解1件、村道路線の認定1件、平成30年度予算の補正3件の全14件が村長より提出され、

すべて原案のとおり可決しました。そのほか繰越計算書1件が報告されました。一般質問は6名の議員が登壇しました。8ページから13ページに掲載しております。

## ◎平成30年度各種会計予算◎

|      | 会計別      | 補正額   | 予算額       |
|------|----------|-------|-----------|
| 特別会計 | 国民健康保険事業 | 15万円  | 5億1,285万円 |
|      | 介護保険事業   | 177万円 | 5億7,947万円 |



倒れている文化財標柱

## 着ぐるみ作製の中止

**問** ふるさと寄附金の充当事業が減額されているが、万葉大使の着ぐるみは作製しないということか。

**答** 議会予算委員会での指摘を受け、慎重に検討した結果、寄附金財源を有効に活用するために、今回は作製しないこととした。

## 村民体育大会横断幕

**問** 社会体育費で購入する横断幕の形状や材質は。また、どこに張る予定なのか。

**答** 縦85cm、横5m、村民体育大会という名称を掲示する材質は風を考慮してメッシュ生地とした。村民体育大会入場門にくくり付ける予定。

## 文化財紹介看板

**問** 大童の史跡を紹介する木製看板が壊れていたのを修繕するようだが、他の地区でもプラスチック看板の字が劣化して読めなくなっていたり、そもそも紹介看板が無い状態がある。どう対応していくか。

**答** 劣化した看板、村内遺跡とも数が非常に多いので、文化財保護審議会の意見を踏まえ、年次的に更新・新設を検討していく。

## 万葉バスのメンテナンス

**問** 万葉バスのマフラーを交換することだが、何km程度走って交換することになったのか。

**答** 走行距離は31万kmほどでマフラーそのものの不具合ではなく、浄化装置の機能が落ちたので、間もなく保証期間が切れるということもあって、今回補正した。

## たばこ増税と税収

**問** 今回の条例改正で、たばこの税額はどのくらい上がるのか。

**答** 今年の10月から1本当たり1円の増税となる。1箱では20円程度の値上げになると思われる。

**問** 税収はどう変化していくと想定しているか。

**答** たばこ税の税収は年々減少している。喫煙者が減ってきているので、増税が税収増につながるかは断言できない。

## 地方交付税の増額

**問** 地方交付税が2億円近く増額になっているが、その理由と用途は。

**答** 黒川地域行政事務組合の焼却施設負担金が、震災関連の特別交付税の対象となったため増額となった。財源に余裕が出来たので、財政調整基金(村の貯金)の取り崩しをできなかった。

## 主な質疑

### ふるさと寄附金

**問** 寄附者の傾向は。

**答** 寄附の額面は一口1万円が殆どを占める。寄附者の居住地は首都圏が最も多い。

**問** 返礼品がマンネリ化しないような対応を考えているか。

**答** 専門業者に委託したウェブサイトで21品目の返礼品を選べるが、今後は、体験型などの新しい返礼品を検討していく。

## 主な条例の改正

◎特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の改正

| 会計別   | 現行   | 改正後     |
|-------|------|---------|
| 月1戸当り | 280円 | 250円    |
| 年均等   | 無し   | ※9,000円 |

※一棟のみを管理する場合の報酬額  
複数棟を管理する場合は割増あり

### 主な質疑

**問** 各住宅の管理人の人数に変動はあるのか。

**答** 五反田北、五反田、定住促進住宅は各棟に一人管理人を置く。河原住宅のみ、地元意向等を受け、これまでどおり3棟を一人の管理人が管理する体制となった。

## 財産の取得

◎戸籍総合システムの機器更新に伴う機械器具の取得

| 取得理由 | 戸籍の機械が法定耐用年数(5年)を迎えたため |
|------|------------------------|
| 契約方法 | 随意契約                   |
| 取得価格 | 2,322万円                |
| 契約相手 | 富士ゼロックスシステムサービス(株)     |

### 主な質疑

**問** 取得価格は高額だが、競争入札ではなく、これまでの業者との随意契約とした理由は。

**答** 法務省の基準を満たす業者は3社あるが、仮に別な業者となった場合、戸籍データ移行にかかるコストが大きい。

# 2条例を改正、一般会計ほか3会計を補正 ふるさと寄附金は総額586万円に

## ◎平成29年度各種会計予算◎

| 会計別    | 補正額      | 予算額        |
|--------|----------|------------|
| 一般会計   | △1,385万円 | 46億8,844万円 |
| 特別会計   |          |            |
| 国民健康保険 | 579万円    | 6億1,782万円  |
| 介護保険   | △230万円   | 5億1,667万円  |

## 追加の主なもの

- ◎歳入の補正  
地方交付税……………1億9,912万円
- ◎歳出の補正  
財政調整基金繰入金……△2億2,000万円



ふるさと寄附金返礼品(1万円分)

## ふるさと寄附金の寄附実績

|      | 平成28年度  | 平成29年度  |
|------|---------|---------|
| 寄附金額 | 45万円    | 586万円   |
| 寄附件数 | 3件      | 418件    |
| 基金残高 | 1,428万円 | 1,960万円 |

※平成29年7月より専門業者に委託

## 損害賠償の額を定め和解すること

### ◎和解の相手方について

第64回村民体育大会(H29.9.3)の看板落下事故後に通院されていた5名(児童4名・保護者1名)のうち、3名の児童と和解

### ◎賠償額について

3名分合計の損害賠償額: **86,430円**

# 平成30年6月定例会提出議案 15件

(専決処分5件、条例改正3件、補正予算3件、報告1件、その他3件)



## 6名の議員が登壇

### 質問者一覧表

- 早坂 豊弘**
  - ・国道4号拡幅による諸問題への村の対応を質す
  - ・小学校授業のカリキュラムが変わる。子ども達への対応は
- 小川 ひろみ**
  - ・給食センターの改築事業への考えを問う
  - ・村民テニスコートの今後は
  - ・万葉クリーンエネルギーカー導入促進事業の見直しを
- 佐藤 貢**
  - ・集団検診にピロリ菌検査を加えてはどうか
- 石川 敏**
  - ・村政施策事業の点検評価について
- 山路 澄雄**
  - ・旧幼稚園舎の利活用について
- 小川 宗寿**
  - ・村の公共施設について質す

## 議会を傍聴してみませんか

皆さんが選んだ議員がどのような質問・発言をしているのか、村の執行部がどのような施策を考えているのか、是非議場で傍聴してみませんか。

お問合せ先:大衡村議会事務局  
☎345-6030  
✉gikai@village.ohira.miyagi.jp

次の定例会は  
**9月4日(火)**  
からの予定です

※会議録は議会事務局・ホームページで閲覧できます。

**承認第 2号** 専決処分の承認を求めることについて  
〔大衡村税条例等の一部を改正する条例の制定について〕  
加熱式たばこ税額の改正等

**承認第 3号** 専決処分の承認を求めることについて  
〔大衡村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について〕  
基礎課税限度額の改正等

**承認第 4号** 専決処分の承認を求めることについて  
〔平成29年度大衡村一般会計予算の補正について〕

**承認第 5号** 専決処分の承認を求めることについて  
〔平成29年度大衡村国民健康保険事業勘定特別会計予算の補正について〕

**承認第 6号** 専決処分の承認を求めることについて  
〔平成29年度大衡村介護保険事業勘定特別会計予算の補正について〕  
承認第4号～6号は5ページに掲載

**議案第37号** 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について  
詳細は4ページに掲載

**議案第38号** 大衡村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について  
規定の明確化、資格要件の拡大

**議案第39号** 大衡村母子・父子家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について  
所得税法改正によって助成対象範囲が狭まらないよう条文を改正

**議案第40号** 財産の取得について  
戸籍総合システムの機器更新関係  
詳細は4ページに掲載

**議案第41号** 損害賠償の額を定め、和解することについて  
村民体育大会看板落下事故の和解関係  
詳細は5ページに掲載

**議案第42号** 村道路線の認定について  
中央平1号線・2号線を認定

**議案第43号** 平成30年度大衡村一般会計予算の補正について

**議案第44号** 平成30年度大衡村国民健康保険事業勘定特別会計予算の補正について

**議案第45号** 平成30年度大衡村介護保険事業勘定特別会計予算の補正について  
議案第43号～45号は3ページに掲載

**報告第 1号** 平成29年度大衡村一般会計繰越明許費繰越計算書について

### ◇6月定例会 採決状況表◇

○賛成 ×反対 議長(細川運一)は採決に加わらない。

| 議案         | 石川 敏 | 佐藤 貢 | 早坂 豊弘 | 佐々木 春樹 | 文屋 裕男 | 小川 宗寿 | 高橋 浩之 | 遠藤 昌一 | 山路 澄雄 | 佐々木 金彌 | 小川 ひろみ | 細川 運一 | 議決結果<br>(賛成:反対) |
|------------|------|------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|-----------------|
| 承認第2号～6号   | ○    | ○    | ○     | ○      | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○      | ○      | —     | 承認(11:0)        |
| 議案第37号～45号 | ○    | ○    | ○     | ○      | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○      | ○      | —     | 可決(11:0)        |
| 報告第1号      | —    | —    | —     | —      | —     | —     | —     | —     | —     | —      | —      | —     | 原案報告            |



小川ひろみ 議員

# 給食センターの改築事業の考えを問う

## 早期建設に向け努力

**議員** 現在の給食センターは旧式のウェットシステムである。ドライシステム導入を図る学校給食衛生管理基準が施行されてから約10年が経過している。教育委員会は現在の作業環境にどう対処しているのか。

**議員** 現在の給食センターは旧式のウェットシステムである。ドライシステム導入を図る学校給食衛生管理基準が施行されてから約10年が経過している。教育委員会は現在の作業環境にどう対処しているのか。



現在のウェットシステム 給食センター

**教育長** ドライ運用を図るといふ基準を遵守し、施設管理と調理業務における衛生管理を徹底している。

**議員** 早急にドライシステムを導入し、安全・安心な給食を子ども達に提供することが大事では。

**議員** 早急にドライシステムを導入し、安全・安心な給食を子ども達に提供することが大事では。

**教育長** センターは建築から約40年が経過し、老朽化が顕著になっている。

**議員** 移設も視野に、予定通り来年度実施設計を組み、優先順位を高くして取り組んでいく。また、近いうちに移設候補地も示したい。

# 万葉クリーンエネルギーカー 導入促進事業の見直しを 総合的に検討して判断する

**議員** 万葉クリーンエネルギーカー導入促進事業補助金は、年間100万円の予算を計上している。平成29年度の補助実績は、4分の1程度の26万円であった。今後は大衡工場で生産された車への導入促進に対応した補助

事業に出来ないか。

**議員**

村内で生産された車に限定すべきか、環境に配慮した次世代自動車に限定すべきかを総合的に検討し判断していく。

**議員** 国道4号線の拡幅工事により、村民テニスコートは現在の場所では継続できなくなる。利用状況をどう捉えているか。

**議員** 場所、今後の整備をどう考えているのか。

**教育長** 中学生が安全に移動でき、利用できる場所として3か所の候補地を考えている。多くの方々に利用いただける施設となるよう検討を進めていく。

# 村民テニスコートの今後は 中学生の利用に配慮し検討



早坂 豊弘 議員

# 国道4号拡幅への村の対応は

## 要望事項は伝えていく

**議員** 長年住み慣れた土地・家には愛着は大きい。住民の方々が気にされるのは、補償金であり、それが示されないとなりに進めないという聞き。

**議員** 平成28年度に拡幅工事が新規事業化されてから、国交省では、住民説明会を3回開催している。また、個々の地権者を訪問し、要望や不安等を聴取して、納得出来るよう進めていくと聞いている。村としても、住民から要望や相談があれば、国へ情報を提供していく。

**議員** 国道4号は、杵木から藤崎までの4・5kmの区間の4車線化拡幅工事が進められる。村は、国交省（仙台河川国道事務所）の道路拡張の進め方に対し、隣接する住民の考えをどう伝えていくのか。

**議員** 本村は農業に従事されている方も多く、農作業車の国道出入も多い。国道への右折・左折が不便になるといった声がある。側道は河原地区の一部だけに設置と聞かすが、逆に道路幅はこれ以上狭くないでほしいという声もある。村はそういう要望も国に伝えるのか。

**議員** 国と地権者の用地交渉は今年の半ば頃から始まり、補償金については個々の話し合いで決めるという大まかな方針は聞いている。村は実施主体ではないが、住民の納得がいくよう進めて頂ければと思っている。

**議員** 具体的な要望があれば、その都度国に伝えていく。しかし、既に設計図面が示されている中で、全ての要望が通るとは考えにくい。



小学校5・6年生の外国語教材

**議員** 平成30年度から小学校において英語指導要綱が取り組まれ、授業時数は三・四年生で15時間、五・六年生で50時間増える。平成32年度からは三・四年生で35時間、五・六年生で70時間増えるが、対応は大丈夫か。

**議員** 児童のテキスト、教材のほか、教師用の指導書が配布されている。さらに、教育委員会としても、指導主事を中心に先生方に対して指導・助言並びに支援をしていく。

# 小学校授業時数増への対応は 学校への指導・助言をしていく



石川 敏 議員

# 村政施策事業の点検・評価は 行政執行の基本と認識する

**議員** 村の施策事業は大衡村総合計画の実施計画に基づき行われているが、各事業について、計画・実施・評価・改善のサイクルによる、事業達成度や成果の自己評価がされているか。

**村長** 実施計画は3か年分の事業を毎年ローリングして策定しており、社会情勢の変動に対応しながら財源も含めて点検評価を行っている。



平成29年万葉まつり（八戸三社大祭山車）

**議員** 農業関係の補助事業は何年も前から継続事業も多いが、国の農業政策の変化に対応した施策に見直していくことが必要ではないか。

**村長** 厳しい農業情勢の中で本村農業の課題を解決していくため、農家への支援策を精査しながら取り組んでいく。

**議員** 万葉まつり・ふるさと祭りには、毎年同じ催事内容ではないか。

**村長** 万葉まつりやふるさと祭りは、イベント会社から提案された催事内容を、各団体の代表者で組織する実行委員会にて意見を聴き検討している。

**議員** 村民体育大会など村主催スポーツ大会も多いが、小中学生の参加のあり方や選手の年代等の課題があるのではないか。

**教育長** 村民体育大会などの各種大会は、分館長やスポーツ推進員から反省や改善点の意見をいただいている。社会教育関係の行事も増えているので、年間行事をどうすべきか今後検討していく。

**議員** 村政各施策の執行にあたっては、実施結果を点検・評価しながら改善を行い、住民福祉の向上に取り組むべきである。村政執行者としての見解は。

**村長** 自治体を預かる責任者として施策の点検・評価は、行政の基本的な問題であると肝に銘じ、村政執行にあたっていく。



佐藤 貢 議員

# 集団検診にピロリ菌検査を加えては 慎重に検討する



集団検診

**議員** がんの死亡率は、全国的に胃がんが上位を占めている。また、胃がん患者の8割以上はピロリ菌に感染しているという。胃がんの早期発見・予防効果を高めるため、ピロリ菌感染の有無をチェックする必要がある。村の集団検診にオプションとしてピロリ菌検査を加えてはどうか。

**村長** ピロリ菌感染の有無と将来胃がんになりやすい状態かを判定する胃がんリスク層別化検査（ABC検診）、それと内視鏡検査を組み合わせた新たな胃がん検診の有効性は認識している。実施には財源の問題もあり、他自治体の例を参考にしながら、より慎重に検討していく。

**健康福祉課長** 平成28年度から集団検診においても内視鏡検査が認められており、本村で委託している対がん協会においても、今後内視鏡検査も出来るような体制を検討している。

**議員** ピロリ菌に感染していた場合、除菌治療を行うことで胃がん発症のリスクを減らせると考えられている。また、現在では慢性胃炎の場合も、除菌治療は保険適用内となっている。このことを住民に周知すべきでは。

**村長** 除菌治療が始まり、保険適用になってからは胃がん死亡者が減少しているとの報告がある。住民の方々にもピロリ菌の知識、検査の有用性、そして除菌の有効性を広く周知していく必要があると思う。

**村長** 中学生向けにピロリ菌検査を実施している自治体があることは把握しているが、検査費用や保護者からの理解が得られるかなど、解決すべき課題もあると思う。先進自治体の状況等を確認していきたい。

**※ピロリ菌**  
正式名称ヘリコバクター・ピロリ。胃の粘膜に住み着く細菌。感染すると炎症を起こす。殆どの場合、除菌しない限り感染したままになる。WHO（世界保健機関）はピロリ菌を「確実な発がん因子」と認定している。

**議員** ピロリ菌は免疫力が弱い幼年期に感染すると言われている。若いときから検査・除菌を行うことで、将来的に胃がんのリスクを抑えられる。そのためにも中学生の集団検診にピロリ菌検査を導入する考えはないか。



小川 宗寿 議員

# 村の公共施設について質す 利用料金の見直しを検討



親子連れでにぎわう万葉クリエートパーク

**議員** 公共施設は維持管理に相  
当な費用を要しているの  
で、来年10月に予定されて  
いる消費増税に併せて利用  
料金の改正を検討する考  
えはないか。

**教育長** 申請により減免処置も  
実施しているため、現時  
点で改正の予定はない。

**議員** 現在無料で開放して  
いるクリエートパーク等  
の利用規約を改正し、緑地  
管理の一部に充てるため  
、有料化する考えはない  
か。

**村長** 近年は地方自治体にお  
いても「経営者」視点で  
行政を運営しなくてはな  
らぬと考える。

徴収にあたっての施設  
整備の必要性や、料金負  
担の公平性の問題から実  
現には至っていないが、  
具体的な利用料金の徴  
収手法も含めて検討して  
いきたい。

**議員** 多目的運動場は、開設  
時から国道側のフェンス  
の高さが足りず、競技に  
よってボールがフェンス  
を超えてしまう危険性が  
ある。改善すべきでない  
か。

**教育長** 利用者や管理者  
からは苦情は聞いていな  
いが、建設から相当年数  
が経ち、老朽化している  
ので、定期点検をしながら  
改修していきたい。

**議員** 衝中北集会所は「住  
宅集会所」の性質上、政  
治・宗教目的には使えな  
い制約があるが、他地区  
はその限りではない。

利用規約や料金体系は  
統一されていないのか。

**村長** 各地区では集会所  
利用規約と料金を独自に  
定めている。どの地区で  
も地元地区民や地区団  
体が使用する際は無料  
である。



山路 澄雄 議員

# 旧幼稚園舎の利活用計画に疑問 広く意見を聞いて対応する



旧幼稚園舎の内部

**議員** 平成24年3月に廃園とな  
った旧幼稚園舎の利活用  
について、平成29年4月、  
副村長他8名の課長による  
庁内検討委員会を立ち上  
げ、利活用の方向性を検  
討した。その後、村民5名  
による検討委員会が設置  
され、4回の会議を経て  
提言書がまとめられた。

提言書の内容は、図書  
室・子ども食堂・高齢  
者向け交流室・児童生  
徒の学習室・音楽学習  
室・長い階段の下にあ  
る遊戯室はスポーツジ  
ムにするというものだ  
が、村内類似施設と競  
合するものであった。  
利活用を検討するにあ  
たって、学識経験者等、  
専門家の意見を聞いた  
ものか。

**村長** 特段、専門家等の  
意見は聞かなかった。

**議員** 旧園舎は昭和51  
年に建設され、宮城県  
沖地震・東日本大震  
災を受けて劣化してい  
ると思われるが、耐  
震性等、専門家の診  
断を仰いだことがあ  
ったか。

**村長** 旧園舎は震災前  
の平成18年10月に耐  
震診断を行い、耐震  
基準をクリアしてい  
る。

**教育長** 平成28年5月、  
村内の建設業者2名が  
外観・内観・天井裏等  
を確認している。柱等  
は外壁をはずさない  
部分もあったが、お  
およそ構造上問題はな  
いとの回答を得てい  
る。報酬は支払って  
いない。安全性確認  
の文書はない。私が  
その場で口頭で回答  
を受けた。

**議員** 旧園舎の安全確認が  
村内業者の好意で行われ、  
安全性確認のための文  
書による報告もなかつ  
たことは、私には納得  
できない。建築物の安  
全性は、きちんとした  
予算措置のもとで確  
認すべきではないか。

**村長** 実際の利活用に入る  
前には耐震診断を受け、  
安全性が確認できたの  
ちに供用を開始する。

**議員** 旧園舎を解体し、  
新たな施設を考えるべき  
と思う。広く村民に意  
見を求めればいいので  
はないか。

**村長** 解体するにも多  
額の経費がかかる。敷  
地の形状も2段になって  
おり、跡地の有効利用  
は難しいと思う。

# 塩浪地区住宅団地整備調査 特別委員会中間報告



## 1. 宅地の分譲状況 (平成30年5月31日現在)

| 区分  | 区画数   | 面積      | 備考               |                      |
|-----|-------|---------|------------------|----------------------|
| 全体  | 108区画 | 25,717㎡ |                  |                      |
| 分譲済 | 106区画 | 25,243㎡ | 契約相手             | 一般個人：62区画 (58.5%)    |
| 未契約 | 2区画   | 474㎡    |                  | ハウスメーカー：44区画 (41.5%) |
|     |       |         | 販売事務所用地 (後日分譲予定) |                      |

## 2. 申込者の状況

### ●現在の居住地



一般個人申込者62名の内、8割が村外の方となっている

### ●年齢構成

| 年代  | 件数  | 割合    |
|-----|-----|-------|
| 20代 | 18人 | 29.0% |
| 30代 | 32人 | 51.7% |
| 40代 | 10人 | 16.1% |
| 50代 | 1人  | 1.6%  |
| 60代 | 1人  | 1.6%  |

## 3. 住宅の建築状況 (平成30年6月4日現在)



# 汚染廃棄物の試験焼却



シートで覆われた汚染牧草ロール (大森地区)

## ◎村内の農林業系汚染廃棄物(牧草)の現状

| 放射性濃度        | 重量      | 備考            | 保管場所             |
|--------------|---------|---------------|------------------|
| 400Bq/kg以下   | 119.0 t | 牧草地すき込み処理     | 大森地区<br>(1箇所に集積) |
| 1,000Bq/kg以下 | 52.7 t  | このうち10 tを試験焼却 |                  |
| 2,000Bq/kg以下 | 19.2 t  |               |                  |
| 計            | 190.9 t |               |                  |

◎汚染ほだ木については、チップ化して林地還元処理済

## ◎試験焼却の実施概要

### ◎農林業系廃棄物試験焼却計画

環境管理センターにおいて、1日当たり最大1 tを週5日間焼却、2～3週間検証等を行う。これを1クールとし、1町村あたり2クール実施する (全6クール)

◎村の焼却開始時期…平成30年6月予定 (6月19日～23日に5 t 焼却)

# ソーラーフロンティア(株)の状況

## ◎企業立地促進奨励金の交付に関する議論

平成30年3月定例会において、現在操業を休止しているソーラーフロンティア株式会社東北工場に対し、平成30年度分の企業立地促進奨励金2,367万円を支出できるのかが議論された

## ◎東北工場について

|       |                   |
|-------|-------------------|
| H26.1 | 村・ソーラーフロンティア立地協定  |
| H27.4 | 稼働開始 (5月に竣工式)     |
| H28.6 | CIS薄膜太陽電池商業生産開始   |
| H29.9 | 商業生産の一時休止         |
| H31後半 | 次世代商品生産拠点として再稼働予定 |

## ◎企業立地促進奨励金交付状況

|             |           |
|-------------|-----------|
| 第1年度(H26年度) | 5,917万円   |
| 第2年度(H27年度) | 5,917万円   |
| 第3年度(H28年度) | 4,734万円   |
| 第4年度(H29年度) | 4,734万円   |
| 合計交付済額      | 2億1,302万円 |

広報広聴

# 行政視察 研修報告

視察年月日：平成30年5月31日～6月1日

## 岩手県 矢巾町



人口増を続ける盛岡市のベットタウン。岩手医科大学附属病院の移転が進んでいる  
議会は執行部に先駆けてタブレットを導入

## 子ども議員が町づくり提言

◎矢巾町子ども議会

|      |                  |      |      |
|------|------------------|------|------|
| 主催   | 教育委員会            | 質問型式 | 一問一答 |
| 対象者  | 小学生(高学年)・中学生の希望者 |      |      |
| テーマ  | 矢巾町をもっと良くしたい     |      |      |
| 事前通告 | 通告あり             | 答弁者  | 執行部  |
| 公開方法 | 保護者の傍聴、議会広報への掲載  |      |      |

こども議会の議会運営は設置通告書・答弁書をやりとりする本格的なもの  
子どもならではの視点から、まちづくりへの鋭い質問が提出されている

## 議会モニターで住民参画

◎紫波町議会モニター

|      |                            |    |     |
|------|----------------------------|----|-----|
| 設置根拠 | 紫波町議会基本条例                  |    |     |
| 選出方法 | 公募                         | 定員 | 10名 |
| 任期   | 2年間                        | 報酬 | 無報酬 |
| 職務   | 会議等を傍聴し意見書を提出年2回、議員と懇談会を行う |    |     |

◎議会傍聴者への配慮

|      |                                  |
|------|----------------------------------|
| ハード面 | 車椅子利用者用傍聴スペース有り<br>難聴者向けにイヤホンを貸与 |
| ソフト面 | 傍聴者の録画・録音の原則許可                   |

## 岩手県 紫波町



岩手県のほぼ中央に位置する。公民連携の駅前再開発計画「オガールプロジェクト」が有名  
近隣町村では最も早く通年議会制度を導入

◎調査を終えての所感・意見

矢巾町・紫波町とも、議会改革の先進地である。改革に積極的な議会が広聴活動を充実させているのは、住民の声を反映させ、住民に積極的に参画してもらう、住民参加型の議会という明確な理想像があるためと感じた。

模擬議会の参加者が議員や職員になったという事例を聞いた。幅広い年齢層の住民に関心を持ってもらうことは、今後の担い手作りにとっても重要である。



# 村道奥田大森線 改良舗装工事の契約締結

## 請負契約に関すること

◎平成29年度奥田大森線改良舗装工事請負契約の変更について

|      |                            |
|------|----------------------------|
| 工事場所 | 大衡村大森字脇線 <sup>わくり</sup> 地内 |
| 請負業者 | 株式会社松川土木                   |
| 請負金額 | 変更前：151,200,000円           |
|      | 変更後：161,012,880円           |
| 工事期間 | 変更前：平成29年10月13日～平成30年7月31日 |
|      | 変更後：平成29年10月13日～平成30年8月31日 |

◎平成30年度奥田大森線改良舗装工事の請負契約

|      |                     |
|------|---------------------|
| 契約方法 | 条件付一般競争入札（総合評価落札方式） |
| 契約金額 | 91,260,000円         |
| 契約相手 | 株式会社松川土木            |

平成30年第2回臨時会は、7月10日に開かれました。  
契約の変更1件、契約1件、損害賠償の和解1件の  
全3件が村長より提出され、すべて原案のとおり可決  
されました。

## 損害賠償の額を定め和解すること

◎和解の相手方について

第64回村民体育大会（H29.9.3）の看板落下事故後に通院されていた保護者1名と和解

◎賠償額について

損害賠償額：1,052,358円

調査年月日：平成30年5月16日

調査年月日：平成30年5月14日

## 村道奥田大森線改良工事

### ◎平成29年度改良工事の概要

|      |                    |
|------|--------------------|
| 工期   | H29.10.13~H30.7.31 |
| 契約額  | 1億5,120万円          |
| 施工延長 | 700m               |
| 幅員   | 車道7.5m+歩道2.5m      |
| 進捗率  | 45% (H30.5.11現在)   |



奥田大森線

## 万葉クリエートパーク遊具改修

### ◎アスレチック遊具改修

|        |                            |
|--------|----------------------------|
| 工事箇所   | わんぱくランド                    |
| 更新した遊具 | No.18 木製すべり台<br>No.8 ネット登り |
| 主な改修内容 | すべり台追加、ネット補修               |
| 工事費用   | 2,268万円                    |



アスレチック遊具

## 新学習指導要領への移行

### ◎小学校の外国語（英語）の時間数増

|        |            |
|--------|------------|
| 平成30年度 | 3・4年生：15時間 |
|        | 5・6年生：50時間 |
| 平成32年度 | 3・4年生：35時間 |
|        | 5・6年生：70時間 |

※平成32年度から新学習指導要領が完全実施

### ◎小学校での特別教科「道徳」の実施

### ◎調査を終えての所感・意見

- ・万葉クリエートパークは指定管理料も大きいですが、遊具は一つ一つが高価で、メンテナンス費用も膨大である。パークの利用者は村外の方が9割以上を占めている。利用料金等を徴収して、遊具等の維持管理費に充てることも必要ではないか。
- ・小学校での英語の授業増については、子ども達へのサポートが必要になると考える。

## イノシシ・クマ出没状況

### ◎平成29年度通報・捕獲件数

|      |                 |
|------|-----------------|
| 通報件数 | 全78件（うちイノシシ51件） |
| 捕獲頭数 | イノシシ22頭         |

### ◎平成30年度通報・捕獲件数 (H30.5.7現在)

|      |                  |
|------|------------------|
| 通報件数 | 全9件（イノシシ5件・クマ4件） |
| 捕獲頭数 | イノシシ5頭（衡東1、大瓜下4） |

## 万葉バスの運行状況

(万葉バス大森線)

### ◎万葉バス大森線(上り)の現地調査

始発の西股から終点の大和ターミナルまで、実際に乗車し調査（西股9:14発）  
始発から終点まで乗客はなし  
運転手の話では、農繁期の大森線は乗客が少ない



調査のため乗車した議員

## 大衡村社会福祉協議会の運営状況

(社会福祉協議会事業への村補助金)

### ◎財政援助団体に係る監査委員指摘事項

法人運営に係る職員の人件費を村が補助しているが、平成29年度決算において、人件費の一部を法人運営費ではなく居宅介護費に誤って計上しており、監査委員の指摘を受けた

### ◎村補助金の増額

平成28年度：約1,450万円→平成29年度：約**2,500万円**  
事業量の増加に伴い職員を増やしたこと等により3名分の人件費を増額している

## 旧幼稚園舎の利活用

(旧大衡幼稚園)

### ◎旧幼稚園舎の現地調査

庁内検討委員会（課長等で構成）と利活用検討委員会（村民5名で構成）による提言をもとに、建物の現況を視察した  
提言書では旧園舎を改修し、図書館・スポーツジム等の利用が検討されている



旧園舎での現地調査

### ◎調査を終えての所感・意見

- ・万葉バスの運行については、漫然と旧来の運行路線を継続するのではなく、高齢者・村民の生活を支える有効な交通体系を確立するよう、議会としても提言が必要と感じた。
- ・旧園舎の利活用方法について提言されているが、内容は総花的で、他の村内施設と用途が重複しており、中途半端な印象を受けた。改修経費やランニングコストの試算もされていない。今後の動きを注視していく。

農業の後継者問題



衡上地区  
早坂 洸輝 さん

私が農業に携わるようになって今年で四年目になります。幼少時から出不精で人見知りだった私は、大衡村で生まれ育ったにも関わらず、土地勘も無ければ、近所との付き合いも無く、農家に生まれたのに農作業経験ありませんでした。何から何まで初めてで大変苦労しつつ、充実を感じています。

作業の機械化と効率化が進んでも人はどうしても必要ですが、いま、その人が減り続けているからです。周囲に同年代の農業従事者は見当たらず、現在日本の農業従事者の年齢は六十代後半に至っています。地域農業存続のために、更なる取り組みが必要です。



スポ少に入ろう

大野 絵梨子さん

大衡村剣道スポーツ少年団は、今年で創設三十六年を迎えました。現在は小学生6名、中学生11名、高校生5名の団員がおります。ご指導下さる先生は、皆スポ少出身のOB・OGの方々です。皆様もよく見かける顔ぶれではないかと思いますが、懇切丁寧に時に厳しく、愛ある稽古をして下さいます。

剣道を習い始めた子ども達は、皆靴を揃え、大きな声で返事が出来るようになります。体力も向上し礼儀作法が身につくと、自分に自信が持てるようになり、さらに多面でも力を発揮しようと努力するようになります。そして大衡中には男女剣道部がありますので、部活動で活躍するのも夢ではありません。

ご興味がありましたら、どうぞ中学校講堂へ足をお運び下さい。

輝く村びと

—大衡村剣道スポーツ少年団—



|      |                            |
|------|----------------------------|
| 活動日時 | 毎週水曜日・金曜日<br>午後6時30分～8時30分 |
| 活動場所 | 大衡中学校講堂                    |

あがき



議員任期もあと9ヶ月を残すだけとなりました。今後も村民の皆様、手にとって見てもらう「議会だより」を、一人でも多くの方に読んでいただくことを目標に、広報編集に取り組んでいくことをお約束いたします。これから本格的な夏が到来し、暑さも一段と厳しくなりますが、健康管理には、くれぐれもご留意ください。

佐藤 貢

大衡村議会  
広報広聴常任委員会  
委員長 小川 宗寿

- 発行責任者 議長 細川 運一
- 副会長 小川ひろみ
- 委員 佐藤 貢
- 委員 石川 敏
- 委員 早坂 豊弘
- 委員 山路 澄雄